



<研修名>	特別支援学級授業づくり研修(第2日-2)
<研修日>	令和5年11月1日(水)
<人数>	40名(小学校:21名、中学校:19名)
<ねらい・目的>	実践交流や振り返りを通して、自閉症・情緒障害特別支援学級に在籍する子どもの効果的な指導・支援方法について二つ以上考えることができる。
<実践発表>	授業づくりの実際(情緒障害)
<講師・指導者>	五日市小学校 教諭 川本 美佐子/教育センター職員
<受講者の様子・感想>	講義やグループでのディスカッションを通して、「みんな同じ悩みを持っているのだ。」ということに気付き、少しホッとした。また、「子どもがこれならできそう!」「明日からやってみよう。」と思えるような教材をたくさん知ることができ、明日からの実践につながる時間になった。



<研修名>	主幹教諭等研修
<研修日>	11月1日(水)
<人数>	18名
<ねらい・目的>	主幹教諭及び学校運営の中核を担う者の役割を理解するとともに、実践力を高める。
<講師・指導者>	教育センター職員
<p data-bbox="91 440 2136 491">&lt;受講者の様子・感想&gt;</p> <p data-bbox="91 491 2136 574">自校の重点課題解決のための実行策を振り返り、グループ協議をする中で、自分が10月までにやってきたことは、小さなことだけれど、次年度につながる大きな一歩だったと評価してもらえた。</p> <p data-bbox="91 574 2136 635">学校全体を動かしていくには意識統一が必要である。いろいろなメンバーの思いを聴く機会をつくり、納得解を導きたい。</p>	
<div data-bbox="91 718 1108 1404">  </div> <div data-bbox="1120 718 2136 1404">  </div>	

<研修名>	新任教頭研修(第5日)
<研修日>	令和5年11月6日(月)
<人数>	56名(小32、中18、高5、特支1)
<ねらい・目的>	学校経営における教頭の役割と実務について理解し、教頭の実務推進に必要な力量を高める。
<講師・指導者>	九州大学大学院人間環境学研究院 教授 元兼 正浩
<受講者の様子・感想>	「役割は周りからの期待の裏返し」という言葉から、自分が「教頭はこうあるべき」と勝手に思い込んでいたことに気づいた。これからは固定概念にとらわれず、自分が求められている役割を柔軟に果たしていきたい。教職員一人一人が自らの役割にプライドをもち、周りの期待に応え合うことで成り立つ組織作りを目指していきたい。



<研修名>

新任特別支援教育コーディネーター研修【第4日】・特別支援教育コーディネーター研修【第2日】

<研修日>

11月6日(月)

<人数>

35名

<ねらい・目的>新任:特別支援教育や特別支援教育コーディネーターの役割と実務の基本について理解し、コーディネーターとして実践に向けての見通しをもつ。

経験者:特別支援教育コーディネーターとしての資質・能力の向上を図るための具体的方策を理解し、特別支援教育の充実に必要な力量を高める。

<講師・指導者>

特別支援教育課 職員

<受講者の様子・感想>

個別の教育支援計画の例を用いて模擬ケース会議を行った際に、「もっと詳しく知りたい」といった部分が多くあった。読み手側を体験し、初めて見た人にもその子の特性が伝わるような、具体的な書き方を意識しなければならないことに気付いた。計画の見直しを行っていきたい。



<研修名>	通級指導教室等新規担当教員研修(第4日-1) 通級指導教室等担当教員研修(第2日-1)
<研修日>	令和5年11月7日(火)
<人数>	24名(小学校:20名、中学校:1名、高等学校:1名、特別支援学校:2名)
<ねらい・目的>	聴覚障害のある子どもの特性や合理的配慮について理解し、効果的な支援方法について2つ以上考えることができる。
<講師・指導者>	広島大学大学院人間社会科学研究科 准教授 林田真志
<受講者の様子・感想>	聴覚障害の子どもにどのようなつまずきがあるのか、専門的かつ具体的に教えていただいた。情報を効率よく伝えることや、経験を言語化する機会を確保することは、日々、子どもと関わる中で意識して取り入れていかなければならないと感じた。日記指導等とあわせて生活や学習の中で、意図的に言語化する活動を仕組んでいきたい。



<研修名>	新任教務主任研修
<研修日>	令和5年11月16日(木)
<人数>	41名
<ねらい・目的>	教務主任の役割と実務について理解し、教務経営上の課題に適切に対応するための見通しをもつ。
<講師・指導者>	井口小学校 教頭 石井 ノリエ 観音中学校 教頭 龍田 将登 基町高等学校 教頭 筒井 浩昭
<受講者の様子・感想>「カリキュラムマネジメントや教務経営について具体的に学ぶことができたので、今後シラバス作成や教務経営を見通しを持ってできるよう研修した内容を活用していきたい。」「教頭先生の話や他校の先生との交流の中で聞いた取り組みを学校の状況に合わせてアレンジして実践したい。」	



<研修名>

新任特別支援教育コーディネーター研修【第5日】・特別支援教育コーディネーター研修【第5日】

<研修日>

11月17日(金)

<人数>

16名

<ねらい・目的>

新任:特別支援教育や特別支援教育コーディネーターの役割と実務の基本について理解し、コーディネーターとして実践に向けての見通しをもつ。  
経験者:特別支援教育コーディネーターとしての資質・能力の向上を図るための具体的方策を理解し、特別支援教育の充実に必要な力量を高める。

<講師・指導者>

特別支援教育課 職員

<受講者の様子・感想>

今回の模擬ケース会議から、校内での教職員同士の連携が重要であると再確認できた。生徒の話をも HR 担当がしっかり聞き取り、SC や部活動の先生等の力を借りながら、生徒の支援に全員で取り組むことが基本であると感じた。



<研修名> 小学校臨時的任用教諭研修【新規者】(第5日)

<研修日> 11月20日(月)

<人数> 59名

<ねらい・目的> 生徒指導・学級づくり・授業づくりの基本的事項について理解し、教育活動に必要な実践的指導力を高める。

<講師・指導者> 教育センター職員

<受講者の様子・感想>  
最も心に残ったのは、振り返ることで考えが変化し行動も変化するという話です。振り返ることは明日からの行動が変わってくる第一歩なのだと気付きました。子供たちにも伝えたいと思いました。





<研修名>

初任者研修(第10日)

<研修日>

令和5年11月21日(火)、11月24日(金)、11月30日(木)、12月1日(金)

<人数>

185名

<ねらい・目的> 傾聴の基本について理解し、これまでの自身の子どもへの接し方について振り返ったり、相手の思いに寄り添った接し方につなげたりする。

<受講者の様子・感想> 主役は相談者であり、聞き手として受容・共感・支持をしながら思いが分かるまで傾聴していくことが重要だと学んだ。表情や目線などの非言語的コミュニケーションを大切に、子どもが安心して相談できる環境を日頃から整えていきたい。



<研修名>	中学校臨時的任用教諭研修(新規者)
<研修日>	令和5年11月22日(水)
<人数>	59名
<ねらい・目的>	生徒指導・学級づくり・授業づくりの基本的事項について理解し、教育活動に必要な実践的指導力を高める。
<講師・指導者>	教育センター職員
<受講者の様子・感想>	
	<p>発表させることの目的について考えた。発表には多くの種類があり、生徒が発表するということが目的とならないように、生徒が理解するということを意識して発表させるようにしたい。</p> <p>授業はゴールから作っていくことが大事で、授業が終わって生徒にどうなってほしいかと考えることが重要だと改めて感じた。</p>
<div data-bbox="100 734 1108 1417" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1131 734 2139 1417" data-label="Image"> </div>	

<研修名>	経験3年次教頭研修(第3日)
<研修日>	令和5年11月27日(月)
<人数>	35名(小学校23名 中学校11名 高等学校1名)
<ねらい・目的>	学校経営に係る専門的事項について理解し、校務運営上の課題解決に必要な力量を高めるとともに、学校経営ビジョンを具体化することを通して、学校経営の充実に向けた見通しをもつ。
<講師・指導者>	教育センター職員
<受講者の様子・感想>	学校経営計画について、振り返るよい機会となった。学校運営を担う管理職として、校長と自校の成果や課題について常に意識し、先生方の向かうべき方向性を示していく役割があることを感じる事ができた。今年度も終わりに近づき、来年度をどうするべきか、しっかり教職員と共有を図り、チームで通いたい学校づくりに力を注いでいきたい。
	